

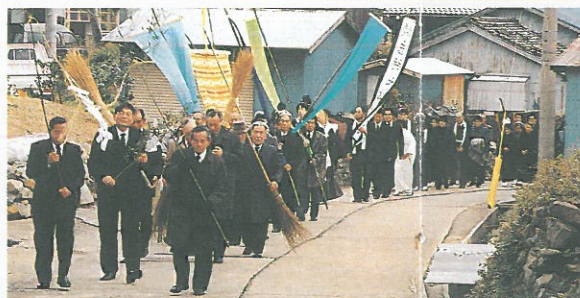
神葬祭のながれ

神葬祭はいくつものおまつりから構成されています。

地方によって若干異なることもありますが、ここではごく一般的な流れを紹介しましょう。



通夜祭



発柩（葬列の風景・長崎）



百日祭（神奈川）

『神葬祭総合大事典（雄山閣出版）より』

- ◆ 帰幽奉告
きゆうほうこく
- ◆ 枕直しの儀
まくらなお
- ◆ 納棺の儀
のうかん
- ◆ 柩前日供の儀
きうぜんじく
- ◆ 墓所地鎮祭
ぼしょじちんさい
- ◆ 通夜祭
つやさい

故人が亡くなった旨を氏神さま、神棚、御霊舎に奉告します。
遺体を整えて殯室（遺体を安置する部屋）に移します。
遺体を柩に納めます。
納棺から発柩（出棺）までの間、毎朝夕常饌をお供えします。
遺体を納める土地を祓い鎮めるおまつりです。
夜を徹して故人の御霊を慰めるおまつりです。

- ◆ 遷霊祭
せんれいさい

故人の御霊を霊璽と呼ぶ白木の「みしるし」に遷し留めるおまつりです。

- ◆ 発柩祭（出棺式）
はつきうさい（しゅくわんしき）
- ◆ 発柩後祓除の儀
はつきうごはらいのぎ
- ◆ 葬場祭（告別式）
そうじょうさい（こくべつしき）
- ◆ 火葬祭
かそうさい
- ◆ 埋葬祭
まいざうさい
- ◆ 帰家祭
きかさい
- ◆ 霊前祭
れいぜんさい
- ◆ 清祓
きよはらい
- ◆ 合祀祭
ごうしさい

柩を霊輿に移して、葬列を組み葬場に向かう際のおまつりです。
家に残った家族と家をお祓いします。
故人に最後の別れをするおまつりです。
火葬に付す際のおまつりです。
遺体・遺骨を埋葬するおまつりです。
葬儀が滞りなく終了したことを霊前に奉告するおまつりです。
葬場祭の翌日から、御霊を慰めるおまつりを行います。
五十日祭を終え家中を祓います。そして、神棚のおまつりを再開します。
故人の御霊を、仮御霊舎から祖先の霊をまつる御霊舎に遷すおまつりです。

- ◆ 百日祭
ひゃくにちさい
- ◆ 命日
めいじつ
- ◆ 年祭
としさい
- ◆ まつりあげ

亡くなってから百日目に行います。
毎月、毎年巡ってくる亡くなった日に故人を追慕します。
満一年、三年、五年、十年、以下十年ごとに行います。
亡くなってから五十年目に行います。